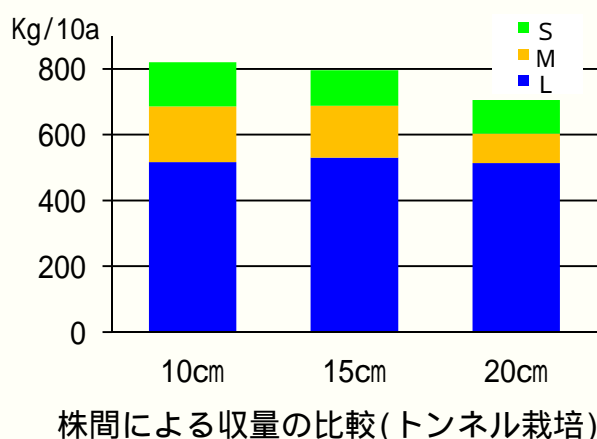


# エダマメの11月出荷のための栽培技術

岐阜県産エダマメは、ハウス、トンネル、露地栽培の組み合わせにより5～10月まで連続出荷され、高い評価を受けています。このような中、産地では有利販売や更なるブランド力向上のため、秋期の作期延長が求められています。

そこで、エダマメの無加温ハウス栽培、露地トンネル栽培による作期拡大のための栽培技術について検討しました。



マルチによる草姿の比較

栽培方法	8月	9月	10月	11月
トンネル栽培 (大型トンネル) 品種：サヤマスメ	は種 8/25～9/1		有孔率3%PO フィルム被覆	収穫 11/3～15
	株間15cm、条間35cmの2条植え、黒マルチ使用			
ハウス栽培 品種：サヤマスメ	は種 8/27～9/7		サイド、二重カーテン による保温	収穫 11/1～20
	株間15cm、条間35cmの2条植え			

## エダマメの11月出荷のための栽培体系

### (研究成果)

- ・ 収量、品質の点から、品種は「サヤマスメ」、栽植様式は株間15cm、条間35cmの2条植えが適しています。
- ・ トンネル栽培では10月10日前後に有孔率3%POフィルムを被覆します。ハウス栽培ではサイドビニール、二重カーテンによる保温を行います。
- ・ は種期は高温のため、移植栽培が適当です。
- ・ ハウス栽培では、移植時から天井ビニールを展張した方が生育・収量は良好です。